

06 地域でできる空き巣対策

ごみ集積所はきれいに管理されていますか

ごみ集積所がきれいだと地域で良好な関係が築かれているという証拠になります。また、空き巣はあいさつされることを嫌うため、声を掛けられやすい地域だと犯行がしにくくなります。

家の周りは整理されていますか

住宅の周りの整理や清掃が不十分だと見通しが悪くなり、犯人にとっては侵入しやすく好都合です。定期的な植木の剪定や雑草の処理などを行い、適正な管理に努めましょう。



07 行田市の取り組み



住宅用防犯カメラ設置補助金



住宅用の防犯カメラを設置する世帯に対して、補助金を交付します。

▶対象 市内在住で、市内の自ら居住する住宅(アパートなどを除く)

▶補助金額 設置費用の2分の1(上限3万円)

▶対象となる防犯カメラ 屋外に設置する住宅用防犯カメラで、24時間継続して常時録画する機能があるもの

▶申請 申請書に必要書類を添付して地域活動推進課へ提出
※住宅用防犯カメラの購入や設置工事は補助金交付決定後に行ってください。



特殊詐欺対策電話機等購入費補助金



呼び出しに自動返答する機能かつ通話を録音する機能を有する固定電話機などを購入する際の費用の一部を補助します。

▶対象 市内在住の満65歳以上の方またはその方の属する世帯の世帯員

▶補助金額 特殊詐欺対策電話機等の購入に要する経費の2分の1(上限1万円)

▶対象となる特殊詐欺対策電話機等 令和6年4月1日以降に購入したもの

▶申請 申請書に必要書類を添付して地域活動推進課へ提出

防犯協会(青パト)×警察×コンビニ おかつ忍し活運動実施中



行田市防犯協会・行田警察署・コンビニエンスストアが連携する『忍し活運動』は、日々地域のパトロールを行う防犯協会と警察署が市内のコンビニエンスストアを巡回する際にお互いの持っている情報を共有する仕組みのことです。

警察によるコンビニエンスストアへの巡回活動はすでに実施されていましたが、行田市防犯協会に所属する行田市防犯推進委員パトロール隊が運行する青パトがこの活動に参加することは県内初の試みです。

▶問い合わせ 行田警察署生活安全課 553-0110

「行田市の取り組み」については地域活動推進課(内線211)

04 詐欺のトレンド ~本人が気付きにくい詐欺~

最近認知件数・被害金額が急増しているのが「SNS型投資詐欺」、「SNS型ロマンス詐欺」です。これらの詐欺は非常に巧妙かつ被害者の心理につけ込んだもので、周囲の人も気付きにくく、1件当たりの平均被害額が1,000万円を超えるなど高額になりやすいのが特徴です。



SNS型投資詐欺



SNS型ロマンス詐欺



SNSのダイレクトメッセージで接触後、「株や暗号資産に投資すれば利益が得られる」などと言葉巧みに被害者を信用させ、最終的に「投資金」や「手数料」などという名目で、金銭などを振り込ませる詐欺の手口です。

- ・SNSのダイレクトメッセージを使って接触てくる
- ・その後LINEアプリに誘導するのが典型的な手口
- ・一度も会ったことがない相手からのお金の話は詐欺を疑う
- ・投資において「必ず儲かる」「元本保証」は詐欺の典型

05 行田市の犯罪の特徴を知る

市内の窃盗被害には「空き家侵入」が多いという特徴があります。令和5年は23件でしたが、令和6年は73件、今年は10月末時点ではすでに46件発生しています。届け出をしていない件数を含めると相当の数になると推測されます。適正な空き家管理をお願いします。

また、空き巣被害発生場所とオレオレ詐欺などの特殊詐欺発生場所が重なる特徴もあります。注意してほしいのは大通り沿いです。犯行後逃げやすいことから、市内北部では羽生吾妻線沿い、県道128号と国道17号の大通り沿い、そしてこの2つの道路に挟まれた地域で被害が集中しています。

空き巣被害に遭わないために各家庭ができる対策は、侵入被害の多い窓対策です。窓ガラスを割りにくくするフィルムや窓を開けられなくなる窓ストッパーなどは100円ショップでも購入できます。ひと手間加えるだけで犯人に狙われにくくなります。

知らない車が長時間停まっている、不審な人物を見かけた場合などは迷わずすぐに警察に連絡してください。不審に感じたことを放置すれば犯人が行動しやすくなります。通報によりパトロールが増えることで被害防止につながります。地域全体で防犯意識を高めていきましょう。



埼玉県行田警察署
生活安全課 警部補
石川隆之さん



被害多発地域